

## (4) 河川・ため池等の緑化

### ① 基本的な考え方

河川・ため池等は、流域住民の生活に密着した施設であるとともに、水は生命の源であり、多様な生物を育む場所でもあります。河川・ため池等の緑化により、水辺から連続

する自然環境の広がりをもたらし、良好な生態系の保全や都市のヒートアイランド現象を緩和するなど、生活環境にやさらぎとうるおいを与えます。

#### 親水空間を形成する緑化

市街地の限られた水辺空間を自然との調和を図りながら、水と緑に親しめる空間を形成する緑化を行う。



#### 「風のみち」を形成する緑化

快適な都市環境を形成するため、ヒートアイランド現象の緩和や大気の冷却、浄化力を高める「風のみち」となる植栽を行う。



#### 生態系を維持するための緑化

河川は、連続した自然空間として生物の移動に大きな役割を果たしており、生物の移動空間を確保するため、護岸や堤防敷等の多自然化を図る。

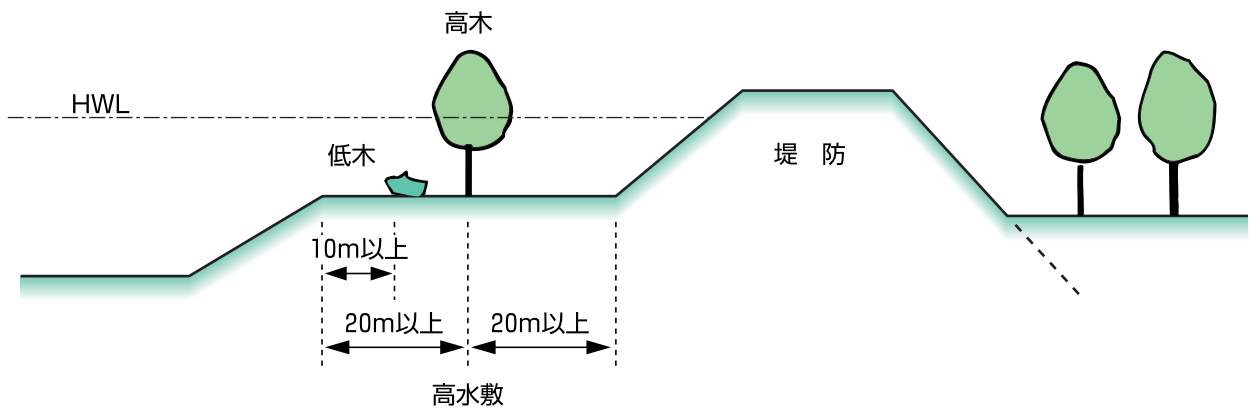


室見川緑地

## ② 緑化計画

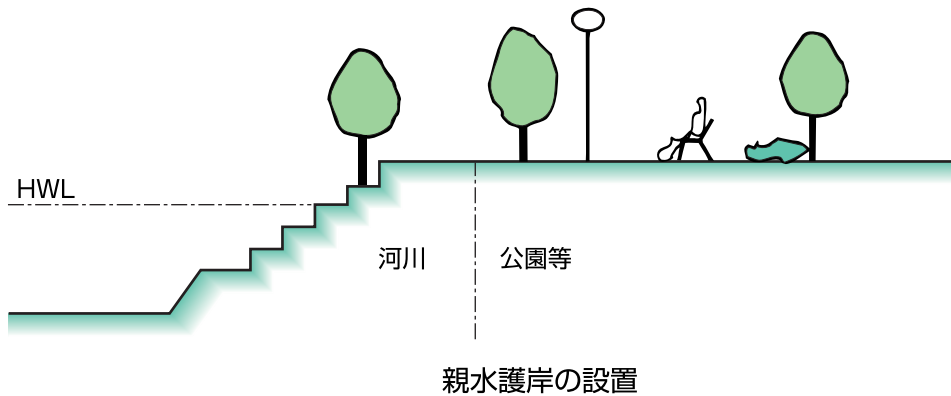
### A 河川敷地内の緑化

河川敷地内の堤防法面や高水敷は、河川法（河岸等の植栽基準（案）資料編P.17・18）に基づき緑化を図ります。



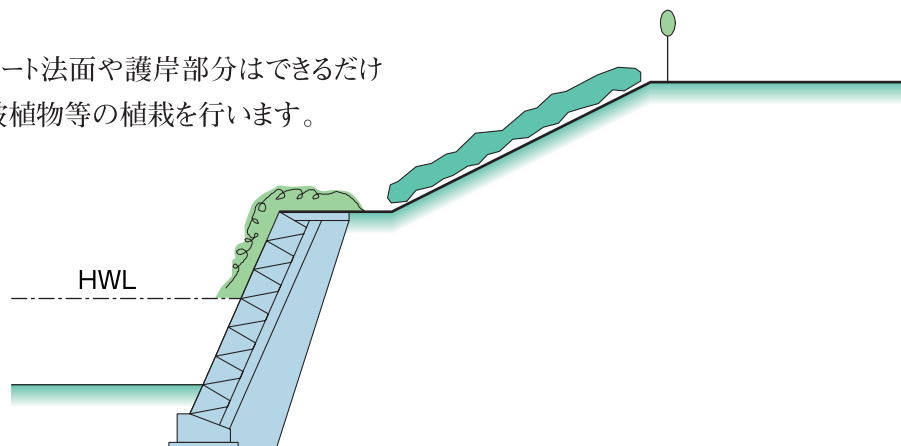
### B 河川と公園緑地等が接する部分の緑化

河川と公園緑地や公共施設等が接する場合は、親水護岸等を設けるなど河川と緑地の一体化を図り、水と緑の憩いの場とします。



### C その他

河川区域内のコンクリート法面や護岸部分はできるだけ少なくし、可能な限り地被植物等の植栽を行います。



## (5) 海岸・港湾の緑化

### ① 基本的な考え方

本市の海岸には、比較的多くの自然が残っており、「豊かな自然に恵まれた福岡市」を後世に残していくためには、市街地を取り巻く山並みに緑の豊富さに加え、この博多湾が豊かで美しく身近に感じられる必要があります。海岸部の整備においては造成から施設整備まで時間が長く、造成後の防塵や景観等環境を緩和するために、地被植

栽や苗木植栽または草花植栽等の早期緑化を行い、その後の植栽にも利用できる計画を行います。海岸・港湾の緑化により、海辺の緑の連続性を高めるとともに、うろおいのある快適な親水空間と豊かな生物生息環境を形成します。

#### 博多湾水際の連続性を高める緑化

生態系に配慮した自然海浜保全を図るとともに、良好な港湾空間を形成するための緑化を行い、博多湾水際帯の連続性を高める。



#### アメニティ空間を形成する緑化

博多湾の自然と歴史性に配慮し、博多湾を訪れる人々に快適な憩いの空間を提供するような緑化を行う。



### ② 海岸部の環境条件

#### A 塩害対策

植栽基盤として、塩分が流脱されているかどうか、土壌調査を行う必要があります。塩分濃度が0.04%以上の場合、一般に植物に害があるといわれています。埋立地の状況により異なるため、土壌調査を行うことで対応策を検討する必要があります。過剰塩類を流脱させるためには、排水を良くし、散水を行うこともあり、また、盛土をして植栽することが大切です。

#### B 耐潮性

海岸より500m以内では、潮風の影響をかなり受けるので、潮風に耐えられる樹種を選定します。植栽方法は、耐潮性のある郷土の樹種で、潮風に強い場所での防潮、防風林の低木、中高木の構成として密に植え、将来森を形成するようにし、内部は庭園的な疎林とするのが一般的な構成手法です。

#### C 飛砂防止、防風対策

海岸に接している場所は、たえず潮風の影響をまともに受けるので、樹木がある程度に生育するまでは、防風ネットを設置して影響を少なくすると効果的です。防風ネットは、遮蔽率50～60%が効果的で、高さは1.1～1.2倍、距離は10～11倍の範囲で、風速および塩分濃度は30～50%落ちます。

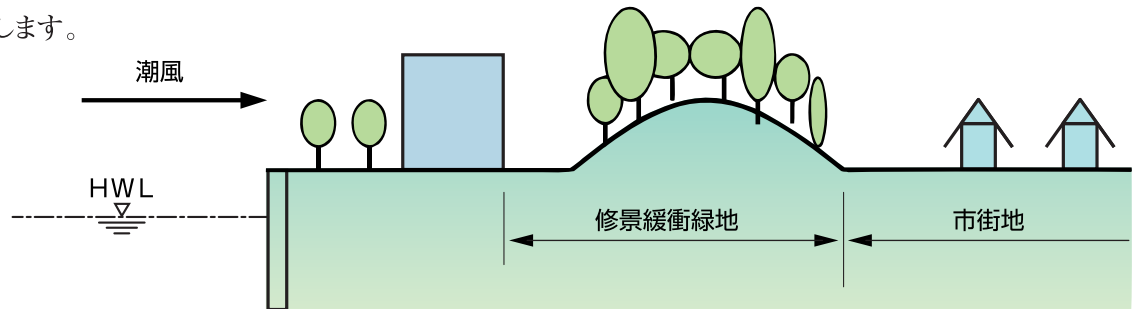
#### D 排水施設

埋立地の場合は地下水位が高くヘドロでシルト質であったり、建設発生残土などが混ざり、大型重機により締固められている場合が多い。そのため水が溜まりやすく排水が悪いので根腐れを起しやす。したがって、盛土をし、高植えるのと同時に、暗渠排水の設置が必要となります。

### ③ 緑化計画

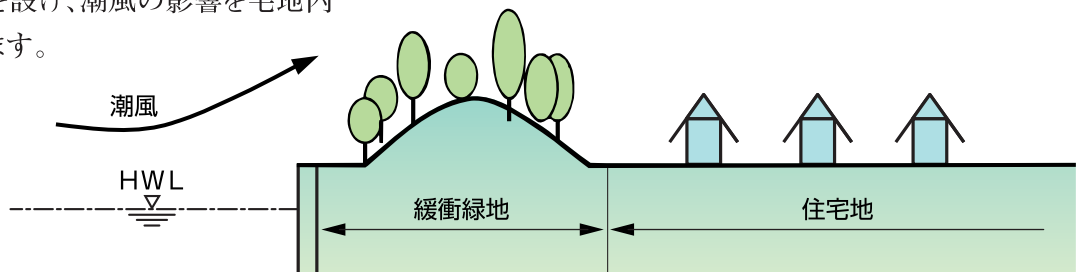
#### A 港湾施設区域の緑化

港湾施設の海岸側は、作業ヤード等で緑化が出来ないところでは、施設と市街地の間に修景及び緩衝機能を持つ緑地を積極的に配置します。



#### B 住宅地沿いの緑化

海岸に面した住宅地は常に強風にさらされることから、住宅地外周は緩衝緑地帯を設け、潮風の影響を宅地内におよぼさないように配置します。

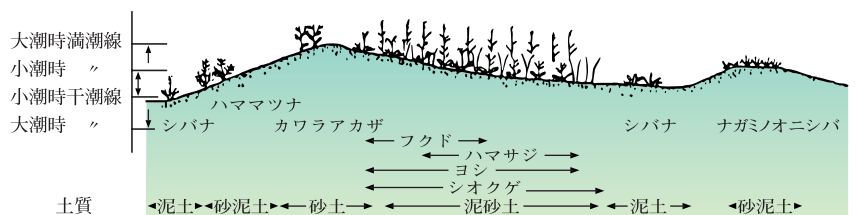


#### C 海浜地の保全

海浜地は、植物の生育に厳しい環境であるが、多様な生物の生息空間ともなるため、適切な保全を行います。

##### ◆博多湾の塩沼地の代表的な植物

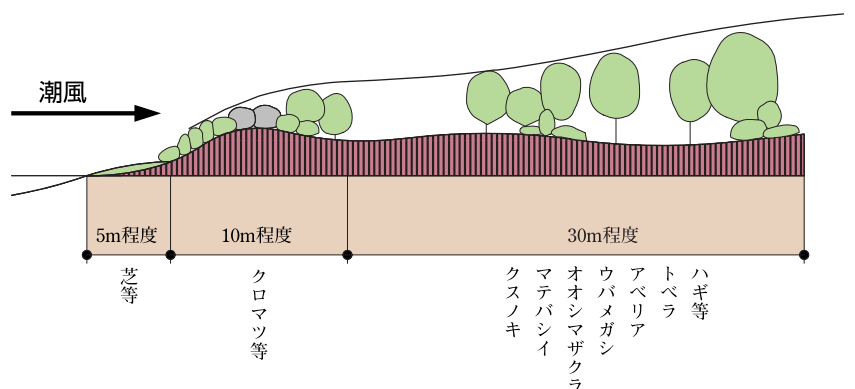
- ホソバノ
- ハマサジ
- ハマアカザ
- ヨシ
- ハママツナ
- シバナ
- フクド
- シオクグ
- ウラギク



塩沼地植物群落の生育状況（瑞梅寺川）

#### D 防風林の保全と復元

海浜地の海側では、潮風に強いクロマツ等を主体に海浜地に適した常緑樹の複層林の保全と復元を行います。



## (6) その他の施設の緑化

### ① 基本的な考え方

その他の公共施設は、市民の安全で快適な生活基盤を形成する重要な施設であり、多くの市民が利用します。公共施設を緑化することにより、各施設にふさわしい風格やシンボル性を演出し、市民に親しみとるおいを与えるとともに、災害時には延焼防止効果等により避難地の確保につながります。

#### A 官公署施設

- 地域の緑の拠点として、市民に親しまれる緑化を行う。
- 緑化の先導役として、屋上緑化壁面緑化等を積極的に行う。



#### B 文教施設

- 地域の緑の拠点として、市民に親しまれる緑化を行う。
- 学校行事を彩る季節感のある緑化や子供の思い出に残る緑化を行う。
- 環境学習に対応する機能をもった緑化を行う。
- 災害時の避難地として、延焼防止効果のある緑化を行う。



#### C 厚生施設

- 地域の緑の拠点として、市民に親しまれる緑化を行う。
- 利用者に、うるおいとやすらぎを与える緑化を行う。
- 災害時の避難地として、延焼防止効果のある緑化を行う。



## D 処理施設

- 地域の緑の拠点として、市民に親しまれる緑化を行う。
- 施設本体及び周辺地域の環境改善を図るための緑化を行う。



## E 運輸施設

- 都市や地域の玄関口として、アメニティが高く風格のある緑化を行う。
- 施設本体及び周辺地域の環境改善を図るための緑化を行う。



## F 公営住宅

- 地域への愛着を育てるため、地域性を考慮した緑化を行う。
- 身近な自然とのふれあいの場として、季節感のある緑化を行う。



## ② 緑化計画

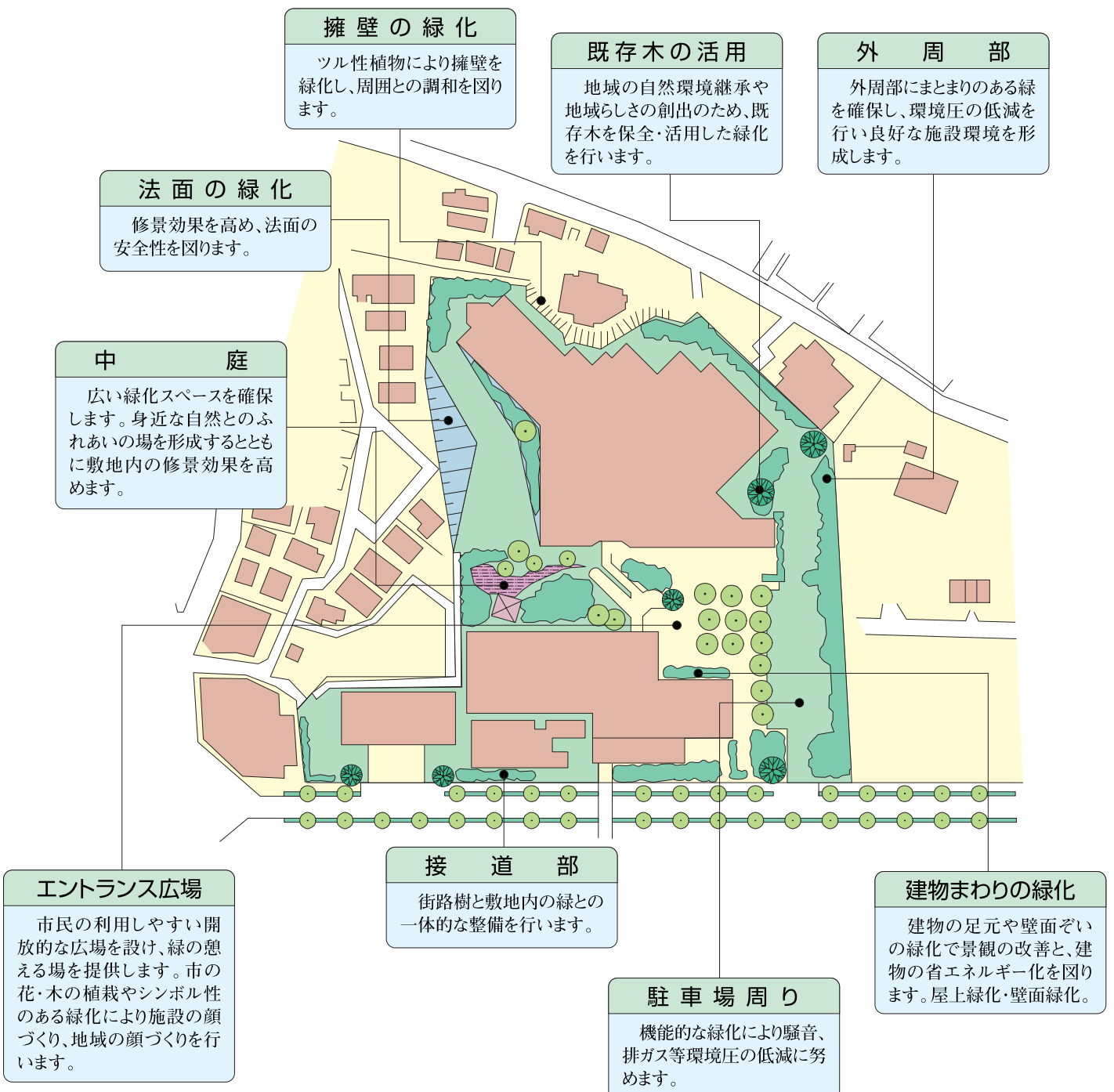
### A その他公共施設の緑化モデルプラン (複合施設タイプ)

公共公益施設が集合している場合には、大きな面積が確保できることを活かし、一体的に整備し、地域の緑の核としての拠点性、シンボル性、修景性を高め、利用者の憩いの場となる広場を設けます。

● 植栽機能は、P.47・48を参照してください。



福岡サンパレス

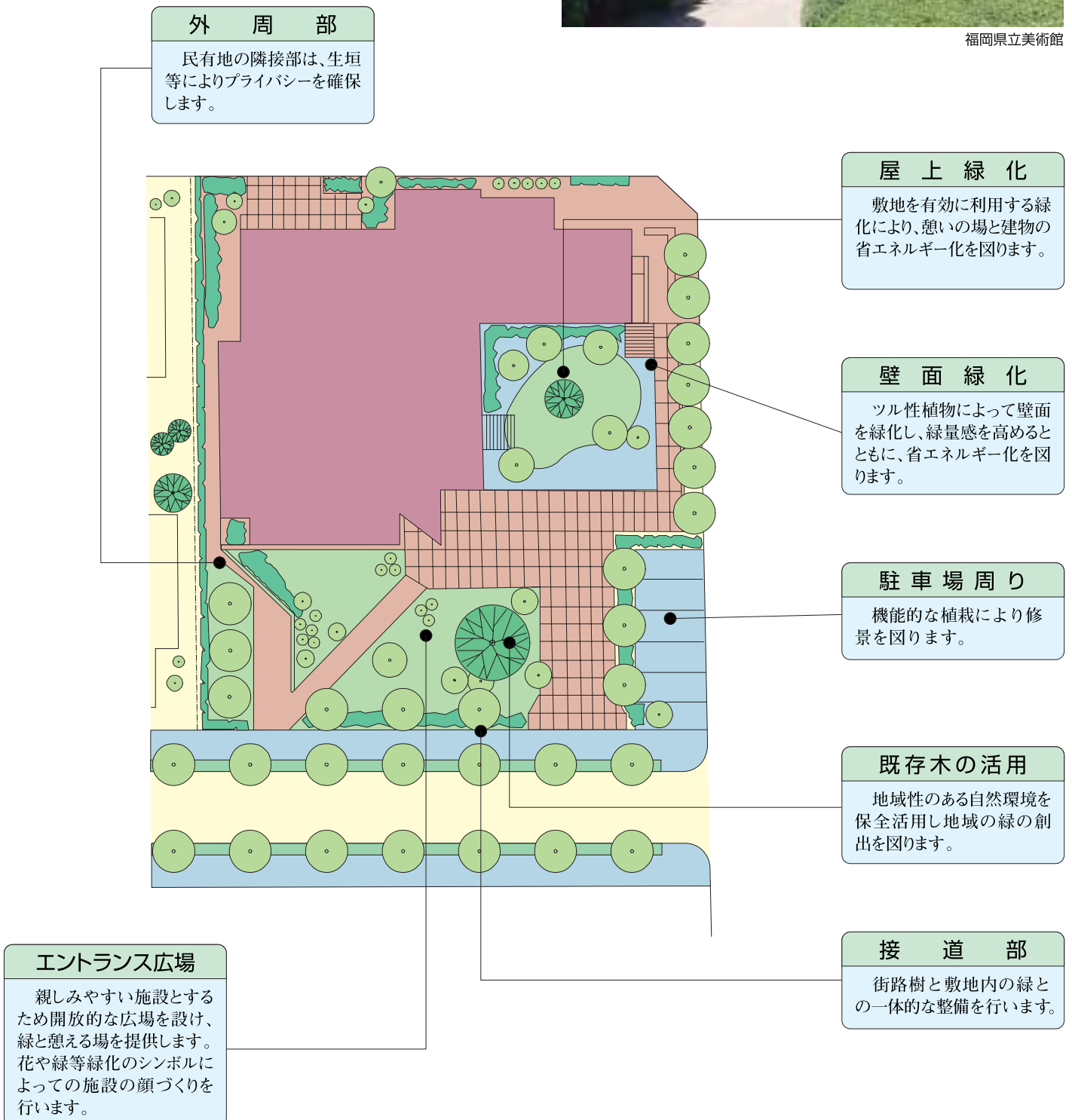


## B その他公共施設の緑化モデルプラン (小規模タイプ)

- 植栽機能は、P.47・48を参照してください。



福岡県立美術館



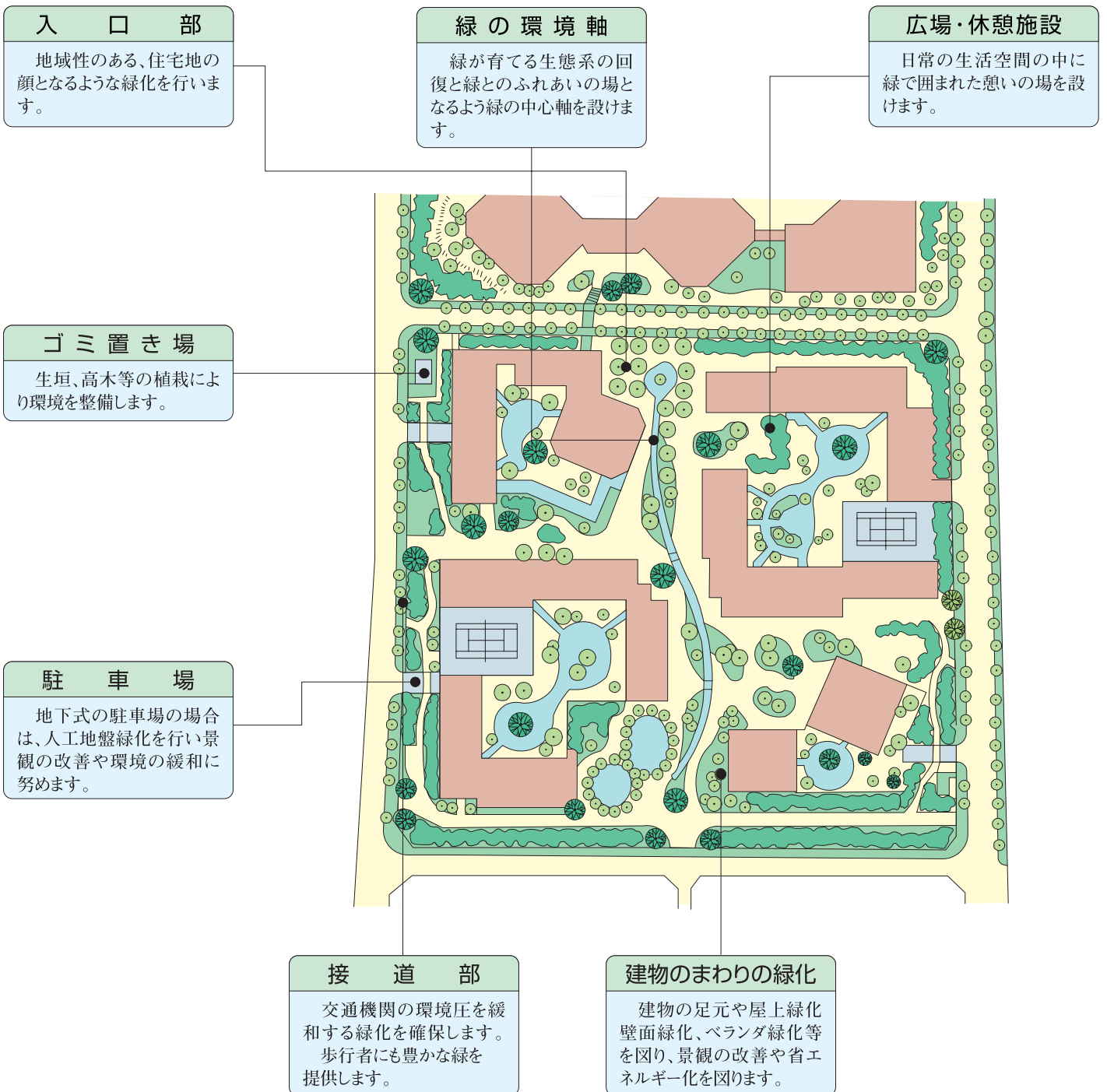


## 住宅地の緑化モデルプラン

● 植栽機能は、P.47・48を参照してください。



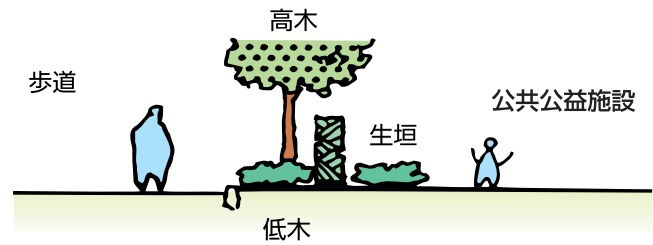
四箇田団地



### ③ 緑化形態

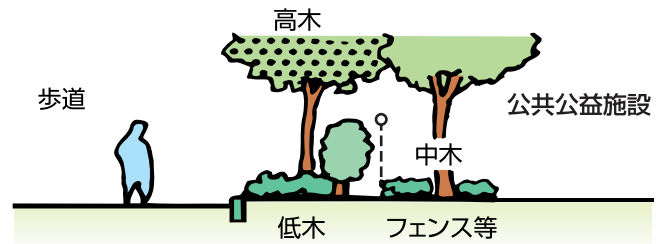
#### A 柵等の生垣化

道路境界部分に植樹地を設け、生垣や花木等を寄植えします。



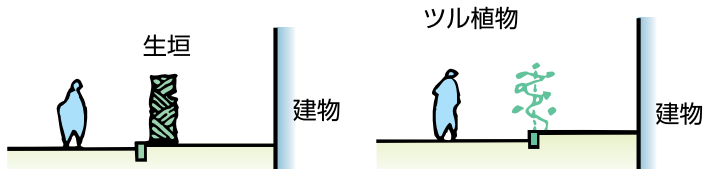
#### B フェンス等のセットバック

フェンス等を設置する場合は内側にセットバックさせ、歩道の前面に植栽地を設けます。



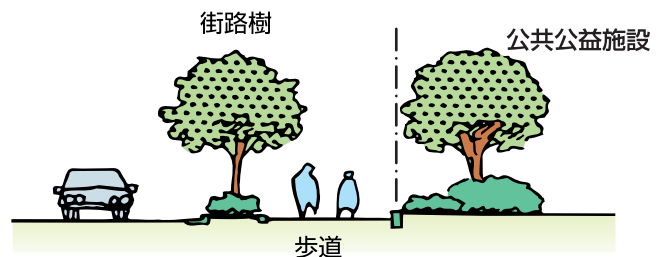
#### C 狭い外周の緑化

敷地に余裕がない場合には生垣やツル植物による緑化を行います。



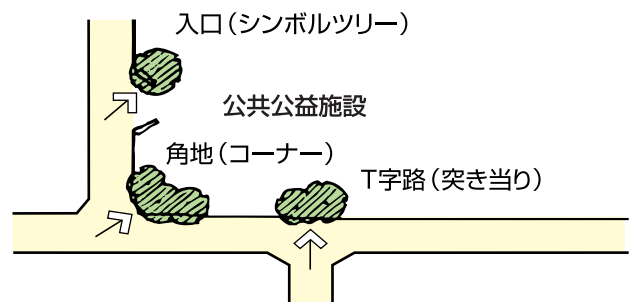
#### D 街路樹との調和

歩道に街路樹がある場合は、接道部にも並木を設け、一体的な緑のトンネルを形成させます。



#### E ポイントの緑化

角地、T字路、突き当たり部など視覚的な要所には、シンボルとなる高木を植栽します。



#### F 建物周りの緑化

高木を植栽する場合は、日照や建物への枝葉の接触に考慮して、落葉樹を主体的とし建物より5m程度離します。

